

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度(平成31年度)	科目名	雑誌デザイン実習2	
科目基礎情報					
開設学科	グラフィックデザイン科	コース名		開設期	後期
対象年次	2年次	科目区分	選択	時間数	60時間
単位数	2単位	授業形態	実習		
教科書/教材	参考作品・参考資料等は、授業中に配布、掲示する。				
担当教員情報					
担当教員	後藤 武	実務経験の有無・職種	有・編集者		
学習目的					
雑誌デザイン実習1で学んだことを生かし、少数のグループによって高いレベルの雑誌、小冊子作りを行う。企画力、撮影、取材、デザインの総合的な組み合わせにより、実際にPR効果があげられるかどうかを考えて制作をすすめていく。よりレベルの高い写真を撮影したり、大きな企画を実行していく為にグループワークの基本的な考え方、チームワークの重要性、リーダーシップ、判断力、応用力といった人間力を磨き、クリエイターとしてだけでなく、様々な環境、職場にも対応することができる考え方とものの見方を養う。					
到達目標					
グラフィックデザイン科共通のスキルとして以下のことを目標としている。 ①自分がイメージしたものを具体的な形にしていく為の方法を考えだす想像力を身につける。 ②グループワーク、リーダーシップの重要性を理解し、複数のメンバーでフォローし合うチームワークを身につける。 ③常にスケジュールを把握しながら進行していけること。 ④多ページにわたるデザインの統一性を考えた構成ができるようになること。 ⑤完成したデザインについて明確に説明できること。					
教育方法等					
授業概要	この授業で作られる小冊子は、実際に学内外でPR用の販促ツールとして実際に使用されることを前提とした課題制作である。雑誌デザイン実習1よりも高いレベルのものづくりを行うためにグループワークを積極的に採り入れる。デザイナーとしての技量だけでなく、様々な作業を手がけることでクリエイターとしての能力と意識を高め、レベルの高い物作りができるようになることを目指す。				
注意点	雑誌、小冊子の制作は、一度にデザインする量が他の制作物に比べて多いため、常に全体の流れやイメージを把握しながら進めていくことが重要になる。短期間での追い込みによって制作する進行は認められない(毎授業開始時に進行確認を行う)。また授業時数の4分の3以上出席しない者は課題提出とプレゼンテーションの実施ならびに評価を受けることができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	課題完成度	40%	提出課題の完成度を評価する		
	リサーチ	20%	制作準備と過程を評価する		
	相談検証	20%	制作過程で適切なディレクション受答ができたか評価する		
	プレゼン	10%	制作物の発表方法、内容について評価する		
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画(1回~15回)					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	ガイダンス、課題スケジュール	雑誌制作の概要を理解し、テーマの選定ができる			
2回	構成①	全体の構成案を考えることができる			
3回	構成②	構成案をサムネイルにすることができる			
4回	構成③	構成案をサムネイルにすることができる			
5回	サムネイル①	サムネイルから具体的な取材ラフを制作することができる			
6回	サムネイル②	ラフをベースに取材、撮影の段取りを行うことができる			
7回	取材①	ラフをベースに具体的な取材、撮影を行うことができる			
8回	取材②	ラフをベースに具体的な取材、撮影を行うことができる			
9回	取材③	ラフをベースに具体的な取材、撮影を行うことができる			
10回	素材整理	写真を整理して最終的なラフを作成することができる			
11回	デザイン①	表紙、中面のページをデザインすることができる			
12回	デザイン②	表紙、中面のページをデザインすることができる			
13回	校正 デザインの修正①	指摘された修正点をデザインに反映できる			
14回	校正 デザインの修正②	指摘された修正点をデザインに反映できる			
15回	講評	制作物を完成提出、発表説明することができる			